



株式会社 JPX 総研  
情報配信システム接続仕様書  
(arrowhead 通知情報ファイル・ToSTNeT 通知情報  
ファイル提供サービス)

Version 3.1

2023 年 9 月 30 日

株式会社 JPX 総研

本ファイル仕様書は、2023 年 9 月 30 日から適用されます。

---

---

## 目次

1. 本仕様書の目的 .....	1
2. 情報配信システムの概要.....	2
2.1. ファイル転送プロトコル.....	2
2.2. 通信回線 .....	2
3. FTP による接続.....	3
3.1. 利用回線 .....	3
3.2. 通信機器 .....	3
3.3. 設定情報 .....	3
3.4. ディレクトリの構成.....	4
4. SFTP による接続.....	5
4.1. 利用回線 .....	5
4.2. 通信機器 .....	5
4.3. 設定情報 .....	5
4.4. ディレクトリの構成.....	6
5. 提供ファイル .....	7
5.1. 提供対象情報 .....	7
5.2. 提供ファイル .....	7
5.3. 提供時間・更新サイクル.....	9
6. 障害時の運用 .....	10
6.1. システム障害時 .....	10
6.2. 情報の誤謬 .....	10
7. 連絡先 .....	11
8. 改版履歴 .....	12

---

## 1. 本仕様書の目的

この仕様書は、株式会社 JPX 総研の提供する以下のサービスをご利用いただくにあたり、ユーザーシステムと JPX 総研の運営する配信システムとの接続に必要な事項を定めるものです。

- arrowhead 通知情報ファイル提供サービス
- ToSTNeT 通知情報ファイル提供サービス

---

## 2. 情報配信システムの概要

本システムにおける情報提供は、情報配信システムからユーザーシステムへのファイル転送によって行います。

### 2.1. ファイル転送プロトコル

本システムとユーザーシステムとのファイル転送プロトコルとしては、以下の2つが利用可能です。いずれのプロトコルにおいても、ユーザーシステムが端末側（FTP 接続におけるクライアント）となります。

なお、同一ユーザーID でFTP と SFTP の両方のご利用はできません。

- ① FTP によるファイル転送
- ② SFTP によるファイル転送

### 2.2. 通信回線

通信回線は、FTP・SFTP 共に arrownet を利用します。

---

### 3. FTP による接続

#### 3.1. 利用回線

情報配信システムとユーザーシステムとの接続回線には、arrownet を利用します。

#### 3.2. 通信機器

通信機器については、arrownet へ接続できる機器をご準備ください。

#### 3.3. 設定情報

接続に必要なユーザーID/パスワードについては、「接続上の取り決め事項」を作成し、利用ユーザーにお知らせします。

なお、IP アドレスは以下のとおりです。

IPアドレス	10.211.48.109
--------	---------------

FTP では、アクティブモード及びパッシブモードの利用が可能です。

FTP のポートは、標準の 20020、20021 を利用します。

パッシブモードによる接続の場合は、データ転送用のポートは「50000～65535」の間でランダムに返送します。

##### 【PASSIVE モードの場合】

コントロールコネクション: クライアント (any) ⇒ 情報配信システム (20021 ポート) へアクセス。

データコネクション: クライアント (any) ⇒ 情報配信システム (50000 ~65535 ポート) へアクセス (情報配信システム側から使用ポートを通知)

##### 【ACTIVE モードの場合】

コントロールコネクション: クライアント (any) ⇒ 情報配信システム (20021 ポート) へアクセス。

データコネクション: 情報配信システム (20020 ポート) ⇒ クライアント (any) へアクセス (情報配信システム側からコネクションを確立する)

arrownet 接続に必要な各設定情報については、arrownet ガイドラインをご参照ください。

### 3.4. ディレクトリの構成

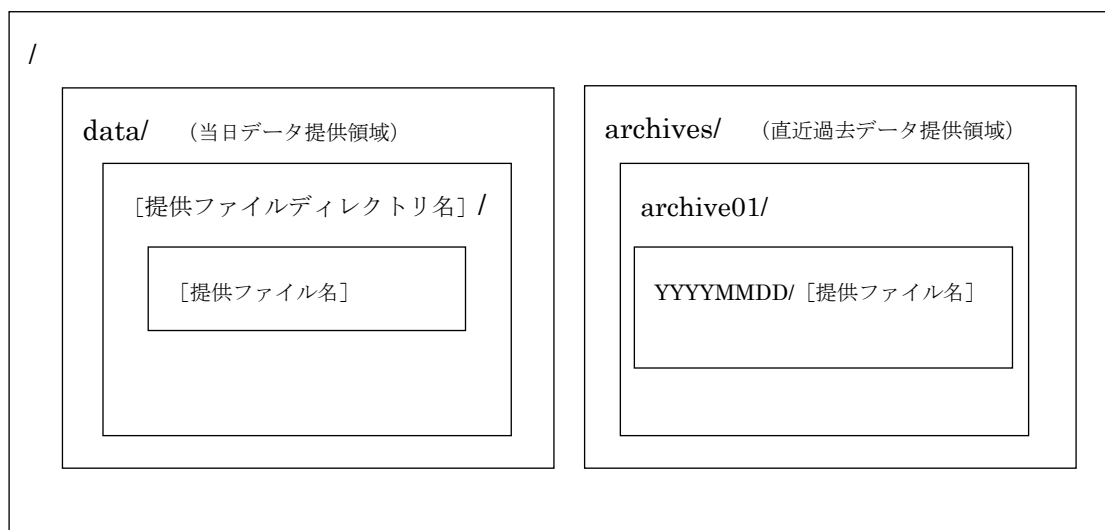
データ提供領域	格納先
① 当日データ提供領域	/data/ [提供ファイルディレクトリ名※1] / [提供ファイル名※1]
② 直近過去データ提供領域	/archives/archive01/YYYYMMDD/[提供ファイル名※1]

直近過去データの提供期間は、7日間となります。

※1

区分	提供ファイルディレクトリ名	提供ファイル名
arrowhead 通知情報	arrowhead_tuchi	YYYYMMDD_XXXXX.zip (※2)
ToSTNeT 通知情報	ToSTNeT_tuchi	YYYYMMDD_XXXXX_T.zip (※2)

※2 「YYYYMMDD」は対象データが発生した日付を表します。「XXXXX」は参加者コードを表します



---

## 4. SFTP による接続

### 4.1. 利用回線

情報配信システムとユーザーシステムとの接続回線には、arrownet を利用します。

### 4.2. 通信機器

通信機器については、arrownet へ接続できる機器をご準備ください。

### 4.3. 設定情報

接続に必要なユーザーID については、「接続上の取り決め事項」を作成し、利用ユーザーにお知らせします。

なお、IP アドレスは以下のとおりです。

IPアドレス	10.211.48.109
--------	---------------

SFTP のポートは、標準の 20022 を利用します。

SFTP による接続には公開鍵が必要となります。ユーザー側で暗号鍵と公開鍵を作成し、公開鍵を JPX 総研へご提出いただきます。公開鍵は以下の命名規則で保管します。公開鍵差替時には以下の命名規則でのファイル名変更をお願いいたします。(SFTP 新規接続時は ID をお伝えしていない時点で公開鍵を作成いただくため、任意のファイル名でご提出ください。)

公開鍵
ユーザーID_keys

(例) ユーザーID が「USER0001」の場合、公開鍵は「USER0001\_keys」となります。

OpenSSH 形式のフォーマットで公開鍵の作成をお願いいたします。(RSA 暗号化形式のみ登録可能です。SECSH 形式、DSA 暗号化形式ではお受けできません。)

SSH はバージョン 2 のみ利用可能です。バージョン 1 は接続できません。

鍵長は最大 4096 ビットまでです。

公開鍵の設定は、1つのFTPユーザIDにつき1つのみ登録可能となります。  
OpenSSH形式例は以下のとおりとなります。(文字列の最後に改行が必要となります。)

(形式例) `ssh-rsa AAAAB3NzaC1yc2EAAAABJQAAA/W1jndOv/～～`

(NG例) `---BEGIN SSH PUBLIC KEY---`

Subject : staff

Comment : `1024-bit dsa, staff@client-pc, Thu Mar 3 20XX 00:00:00 +09Y

AAAAB3NzaC1yc2EAAAABJQAAA/W1jndOv/～～

#### 4.4. ディレクトリの構成

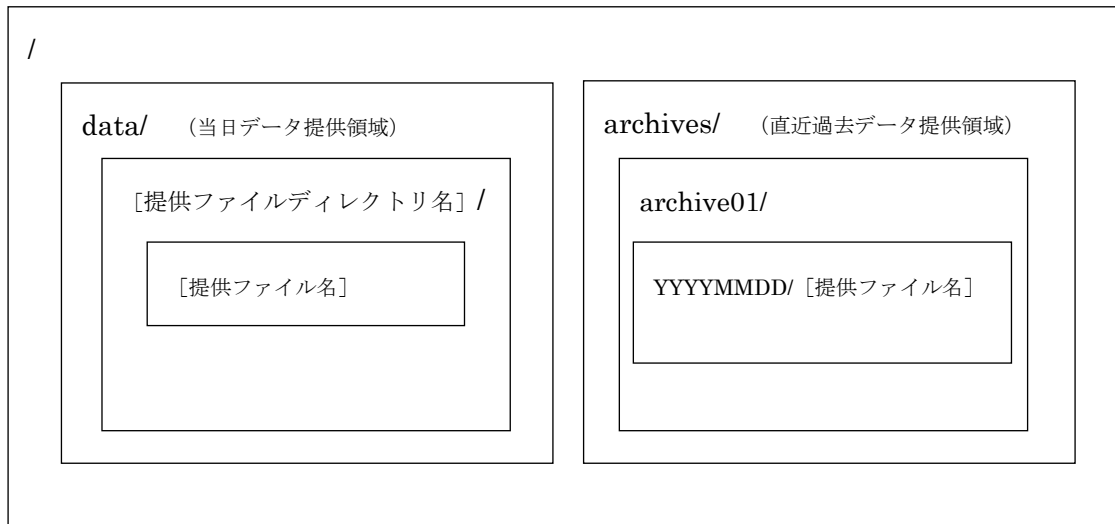
データ提供領域	格納先
③ 当日データ提供領域	/data/ [提供ファイルディレクトリ名※1] / [提供ファイル名※1]
④ 直近過去データ提供領域	/archives/archive01/YYYYMMDD/[提供ファイル名※1]

直近過去データの提供期間は、7日間となります。

※1

区分	提供ファイルディレクトリ名	提供ファイル名
arrowhead 通知情報	arrowhead_tuchi	YYYYMMDD_XXXXX.zip (※2)
ToSTNeT 通知情報	ToSTNeT_tuchi	YYYYMMDD_XXXXX_T.zip (※2)

※2 「YYYYMMDD」は対象データが発生した日付を表します。「XXXXX」は参加者コードを表します





## 5. 提供ファイル

### 5.1. 提供対象情報

本システムの提供する情報は、以下となります。(契約手続きを行い、アクセス権を付与された情報のみにアクセスすることができます。)

提供される情報は、本サービス利用者の情報に限ります(他社の情報を取得することはありません)。

(ファイル一覧)

NO	区分	ファイル名	備考
1	arrowhead 通知情報	YYYYMMDD_XXXXX.zip (※1)	
2	ToSTNeT 通知情報	YYYYMMDD_XXXXX_T.zip (※1)	

※1 「YYYYMMDD」は対象データが発生した日付を表します。「XXXXX」は参加者コードを表します。

### 5.2. 提供ファイル

#### (1) 提供ファイルの概要

提供ファイルの概要は、以下のとおり。

NO	提供情報	概要
1	arrowhead 通知情報	各取引参加者が保持する仮想サーバ(※1)の通知情報ファイル(受付系通知情報および約定系通知情報)を営業日毎に1ファイルに圧縮(ZIP形式)して提供します。 arrowheadの本番環境で営業日に発生した通知情報(受付系通知及び約定系通知)を1通知、1レコードとして格納します。 なお、提供ファイルは、東京証券取引所の後場立会終了後、参加者オンライン終了を待たずに作成を開始するため、後場立会終了以降に発生するエラー通知については本サービスの対象外となります(提供ファイルの作成開始までに発生したエラー通知は含まれます)。
2	ToSTNeT 通知情報	各取引参加者が保持する仮想サーバ及びFIXクライアント(※2)の通知情報ファイル(受付系通知情報および約定系通知情報)を取引参加者ごとに1ファイルに圧縮(ZIP

		<p>形式) して提供します。</p> <p>ToSTNeT の本番環境で営業日に発生した通知情報 (受付系通知及び約定系通知) を 1 通知、1 レコードとして格納します。</p> <p>提供ファイルは、参加者オンライン終了後に作成を開始するため、参加者オンライン終了までのエラー通知を含む全ての通知情報が本サービスの対象となります。</p>
--	--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※1 提供ファイルに格納される通知情報の対象は『東京証券取引所』に属する仮想サーバ (注文・通知) のみに なります。

仮想サーバ別の通知情報ファイルのファイル仕様については、『arrowhead システム間接続仕様書 業務 (注文・通知) 編』の「付録1 媒体出力について (通知情報)」を参照ください。

※2 FIX クライアントの通知情報は、東証プロトコルのフォーマット形式に変換されたうえでの提供となります。

仮想サーバ別の通知情報ファイルのファイル仕様については、『東証 P\_注文・通知 (接続編)』の「付録1 媒体出力について (通知情報)」を参照ください。

(2) データフォーマット

arrowhead の通知情報ファイル (受付系通知情報および約定系通知情報) に関するデータフォーマットについては、『arrowhead システム間接続仕様書 データフォーマット (注文・通知) 編』を参照ください。

ToSTNeT の通知情報ファイル (受付系通知情報および約定系通知情報) に関するデータフォーマットについては、『東証 P\_注文・通知 (データフォーマット編)』を参照ください。

(3) 文字コード

原則として、半角/英数は、JIS8 コード、全角は、シフト JIS コードのファイルを提供します。

(4) 圧縮形式

ZIP 形式による圧縮を行い提供します。

### 5.3. 提供時間・更新サイクル

#### (1) 情報の提供時間

本システムでの提供は、原則 24 時間 365 日となります。

なお、JPX 総研側の都合により、休日や夜間においてサービスを停止する時間が発生する場合があります。その場合、サービス停止の日時については、事前にユーザー窓口宛にメールにてお知らせいたします。

#### (2) 情報の提供時刻・取得可能期間

提供開始時刻は、以下の通りです。

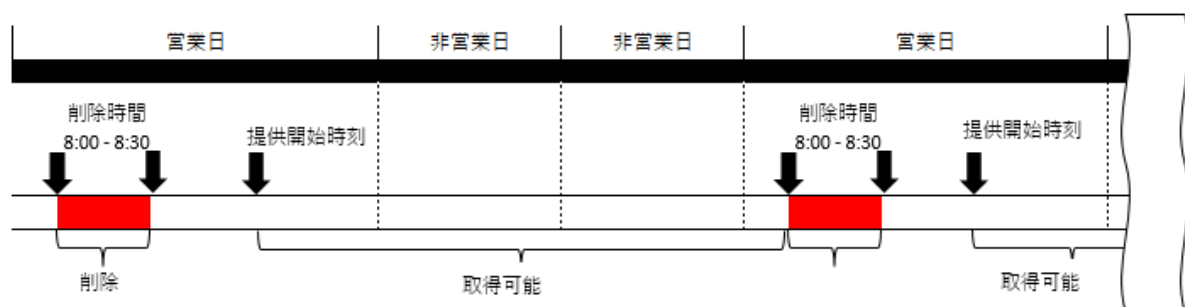
NO	区分	提供開始時刻
1	arrowhead 通知情報	当日午後 4:00 から午後 5:40 の間
2	ToSTNeT 通知情報	当日午後 6:00 から午後 7:40 の間

取得可能期間は、「3.4. ディレクトリの構成」「4.4. ディレクトリの構成」に記載のデータ提供領域毎に、以下の通りとなります。

##### ① 当日データ提供領域について

当領域では、当日データファイルのみ提供します。営業日午前 8:00~8:30 にファイル削除を実施し、提供開始から削除までの期間であれば何度でもファイル取得が可能です。（削除イメージ図を参照）

##### 削除イメージ図



##### ② 直近過去データ提供領域について

当領域では、当日データファイルと直近過去 7 日間のうち営業日分のデータファイルを提供いたします。当日データ提供領域とは異なり、ファイルは一度しか取得できないためご注意ください。再度ファイルの取得を希望される場合は、「7. 連絡先(1)

---

---

当仕様書についてのお問い合わせ」に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

## 6. 障害時の運用

### 6.1. システム障害時

本システムの障害発生時には、その旨を電子メールでご連絡します。

障害回復後、再度電子メールでご連絡しますので、ファイルの再取得をお願いします。  
なお、障害の状況によっては、復旧が翌営業日以降になる場合があります。また、障害により復旧までの間のデータ提供が困難な状況となった際等に、データ提供中止のご連絡をする場合があります。

### 6.2. 情報の誤謬

提供情報に誤りがあった場合、システムの都合により、真正情報を収録したファイルが再作成できないことがあります。その際は、その旨と訂正情報をメール等でご連絡します。

なお状況によって、真正情報を収録したファイルを作成し、提供準備を整えることが可能な場合には再度、ご連絡しますので、再取得をお願いします。

### 6.3. ファイル再取得

ユーザーシステムの障害等により、平常どおりファイルが取得できないままファイル取得可能時間を過ぎてしまった場合は、ファイルの再提供を行います。この場合の提供は、原則、電子メールで行います。

なお、本システムでは、過去7日分(非営業日含む)のファイルまでを保存しています。

※ファイルが取得できない場合、取得時間・エラーメッセージも併せてご連絡ください。

---

## 7. 連絡先

- (1) 当仕様書についてのお問い合わせ

株式会社 JPX 総研 IT ビジネス部 TMI 問合せ窓口  
tmi-contact@jpx.co.jp

- (2) 夜間緊急時のお問い合わせ

(株)JPX 総研 IT サービス部 統合運用担当  
電話: 050-3819-1050

※ お問い合わせの際に、「arrowhead 通知情報ファイル提供サービス」または「ToSTNeT 通知情報ファイル提供サービス」を御利用いただいている旨を担当者にお伝えください。

## 8. 改版履歴

日付	バージョン	内容
2016年8月19日	0.9	新規作成
2016年11月1日	1.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「3.2 通信機器」・「4.2 通信機器」について、接続機器の記載内容を変更。</li> <li>・「3.3 設定情報」・「4.3 設定情報」のIPアドレスを変更。</li> <li>・「5.3 提供時間・更新サイクル」について、(2)情報の取得可能時間を変更。</li> </ul>
2021年6月28日	2.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報配信システム(TMI)のリプレースに伴い、以下の記載内容を変更。 <ul style="list-style-type: none"> <li>「3.3 設定情報」</li> <li>「3.4 ディレクトリの構成」</li> <li>「4.3 設定情報」</li> <li>「4.4 ディレクトリの構成」</li> <li>「5.3 (2) 情報の取得可能時間」</li> <li>「6.3 ファイル再取得」</li> <li>「7. 連絡先」</li> </ul> </li> <li>・ToSTNeT 通知情報ファイル提供サービスの追加に伴い、以下の記載内容を変更。 <ul style="list-style-type: none"> <li>「表紙タイトル」</li> <li>「1. 本仕様書の目的」</li> <li>「3.4 ディレクトリの構成」</li> <li>「4.4 ディレクトリの構成」</li> <li>「5.1 提供対象情報」</li> <li>「5.2 (1) 提供ファイルの概要」</li> <li>「5.3 (2) 情報の取得可能時間」</li> </ul> </li> </ul>
2022年4月4日	3.0	<p>表紙の会社名を株式会社 JPX 総研に変更する。</p> <p>1. 本仕様書の目的</p> <p>①を「株式会社 JPX 総研」に変更する。</p> <p>※「東証」の略称で記載されている箇所を「JPX 総研」に変更</p> <p>3.3. 設定情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以下を追記する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>パッシブモードによる接続の場合は、データ転送用のポートは「50000～65535」の間でランダムに返送します。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【PASSIVE モードの場合】</b></p>

日付	バージョン	内容
		<p>3.3. 設定情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>以下を追記する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>パッシブモードによる接続の場合は、データ転送用のポートは「50000～65535」の間でランダムに返送します。</li> </ul> </li> </ul> <p>【PASSIVE モードの場合】</p> <p>コントロールコネクション：クライアント (any) ⇒ 情報配信システム (20021 ポート) へアクセス。</p> <p>データコネクション：クライアント (any) ⇒ 情報配信システム (50000～65535 ポート) へアクセス (情報配信システム側から使用ポートを通知)</p> <p>【ACTIVE モードの場合】</p> <p>コントロールコネクション：クライアント (any) ⇒ 情報配信システム (20021 ポート) へアクセス。</p> <p>データコネクション：情報配信システム (20020 ポート) ⇒ クライアント (any) へアクセス (情報配信システム側からコネクションを確立する)</p> <p>4.3. 設定情報</p> <p>公開鍵について以下を追記する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SECSH 形式ではお受けできません。</li> <li>その他公開鍵の NG 例としてフォーマットを記載</li> </ul> <p>5.3. 提供時間・更新サイクル</p> <p>(2) 情報の取得可能時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「①当日データについて」を以下のように修正する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>当日のデータを提供いたします。ファイル提供時刻までに当日提供ファイルが作成されます。一度取得されたファイルは削除され、取得不可となる仕様であるため、ファイル取得は一度しか行えません。ですが、ファイル取得後もファイル名のディレクトリは残ります。</li> </ul> </li> </ul> <p>②直近過去データについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「②直近過去データの提供について」に以下文言を追記する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>当日分のファイルについては、「当日データ」および「直近過去データ」それぞれのディレクトリに同タイミングで格納されます。また、archive01 に存在する各ファイル名のディレクトリは、日付内のファイルをすべて取得後、該当日付のディレクトリごと削除されます。</li> </ul> </li> </ul> <p>7. 連絡先</p> <p>(1) 当仕様書についてのお問い合わせ 株式会社 JPX 総研に変更</p>

日付	バージョン	内容
2023年9月30日	3.1	<p>公開鍵に関する記載の修正</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4. SFTP による接続</li> <li>4. 3. 設定情報</li> </ul> <p>ディレクトリ構成に関する記載変更（仕様変更は無し）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3. FTP による接続</li> <li>3. 4. ディレクトリの構成</li> <li>・ 4. SFTP による接続</li> <li>4. 4. ディレクトリの構成</li> </ul> <p>ファイル取得回数制限の廃止に関する修正</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5. 3. 提供時間・更新サイクル <ul style="list-style-type: none"> <li>(2) 情報の提供時刻・取得可能期間</li> </ul> </li> <li>・ 6. 障害時の運用 <ul style="list-style-type: none"> <li>6. 3. ファイル再取得</li> </ul> </li> </ul> <p>部署名の変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7. 連絡先 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 当仕様書についてのお問い合わせ</li> <li>(2) 夜間緊急時のお問い合わせ</li> </ul> </li> </ul>

以上